

2020年8月27日

～中信美術館～
「鈴木 治 土のかたち」展開催について

公益財団法人 中信美術奨励基金（理事長 白波瀬 誠・京都中央信用金庫 理事長）では、中信美術館において「鈴木 治 土のかたち」展を下記のとおり開催しますのでお知らせいたします。

記

- 1. 展覧会名** 「鈴木 治 土のかたち」
- 2. 展覧会内容** 実用的な器にとどまらず、純粋な立体造形としての作陶を追求した陶芸家鈴木治氏の回顧展。動物や自然現象のイメージを鋭い感性で表現した詩情あふれる作品で、陶芸における表現の可能性を広げる独創的な創作活動を展開した。本展では、青白磁や焼締め、遺作となった「ひこばえ」シリーズなど初期から晩年の作品を一堂に展覧いたします。
- 3. 会 期** 2020年9月3日（木）～10月9日（金）
午前10時から午後5時（入館は午後4時45分まで） 月曜日休館
- 4. 会 場** 「中信美術館」
京都市上京区下立売通油小路東入西大路町136番3
（京都府庁正門西約100メートル）
地下鉄/丸太町駅下車徒歩10分 市バス/堀川下立売下車徒歩2分
- 5. 入 場** 無料
- 6. 主催・協力等** 主 催：公益財団法人 中信美術奨励基金
協 力：京都中央信用金庫
協賛イベント：京都文化力プロジェクト

以上

☆本件に関するお問い合わせは、
京都中央信用金庫 On Your Side 事業部（TEL075-223-8385 FAX075-223-2563）
までお願い申し上げます。

(ご参考)

陶芸家 鈴木 治 (すずき おさむ) 略歴

1926年京都生まれ。1948年前衛陶芸作家集団「走泥社」を結成、以後毎年展覧会を開催、出品した。従来の器としての用途だけにこだわらず、陶芸の芸術的立体造形を追求した作品を自ら「泥象 (でいしょう)」と称した。

プラハ国際陶芸展金賞 (1962年)、ヴァロリス (仏) 国際陶芸ビエンナーレ大賞 (1970年)、紫綬褒章 (1994年)、日本芸術大賞 (1998年)、朝日賞 (陶芸界で初受賞、1999年)、京都府文化賞特別功労賞 (1999年) など、国内外で多数の賞を受賞。京都市立芸術大学名誉教授として後進の育成にも尽力された。

2001年ご逝去。享年74。